

小林秀藏君

同

畑精吉郎君

高機壽三郎君

同

杉山輯吉君

久保肇助君

同

松尾鶴太郎君

荒木謙三君

同

杉山輯吉君

一終身准員トシテ入會ヲ認可シタルモノ左ノ如シ

西村周三郎君

同

小田川全之君

一退會申込ヲ認可シタル者左ノ如シ

准員 西東義雄君

同

國嶋光方君

○論説及報告

○讚岐鐵道

工學士 香取多喜

讚岐鐵道ハ香川縣下讚岐國多度郡多度津村(金毘羅參詣ノ要路ニシテ小波戸アリ海路ヨリ來ルモノ皆ナ之ニ依ル船舶ノ來往最モ繁シ一ニ多度津港ノ名アリ)ニ起リ琴平村ニ至ル七哩四十六鎮ト丸龜町ニ達スル二哩六十鎮ノ二線ヲ以テ成ル去レモ多度津停車場ハ終極ニテ此ニ本社アリ機關車庫客車庫轉車臺給水槽石炭庫貨物庫等皆ナ備ハレリ停車場ハ總テ四ヶ所ニテ多度津上吉田琴平(以上琴平線)及丸龜トナス

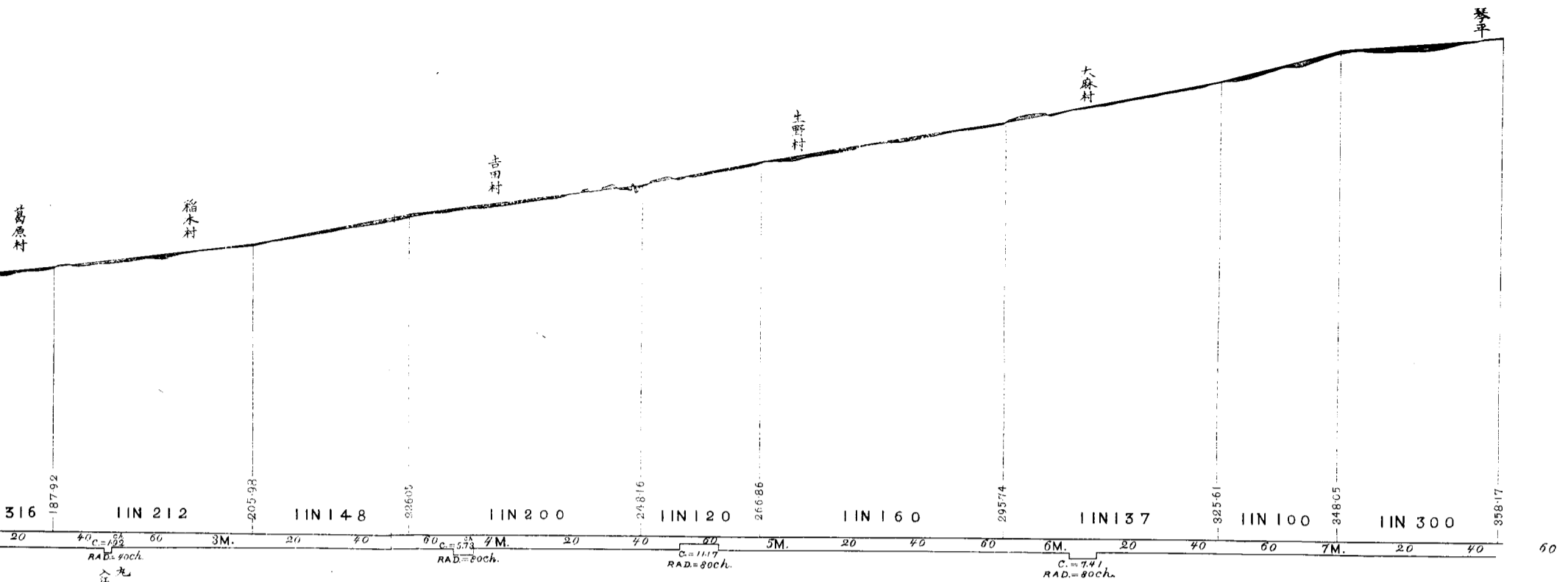
線路ノ地勢ハ概シテ平坦ナリ多度津丸龜間ハ全ク平坦ニシテ多度津琴平間ハ漸次登リ勾配ニテ通シテ百九十分ノ一ナリ去リ迎卑低ニシテ吐水門ヲ要スル所モ多カラス又タ地盤モ多

クハ砂利層ニテ諸建築物ノ基礎ハ大抵堅固ナリ(多度津停車場構内ハ海岸埋立地ナルヲ以テ建築物ノ基礎ハ杭撃又ハ蠟燭石ヲ以テ之ヲ固メタリ)故ニ工事ハ總テ易キ方ナリ

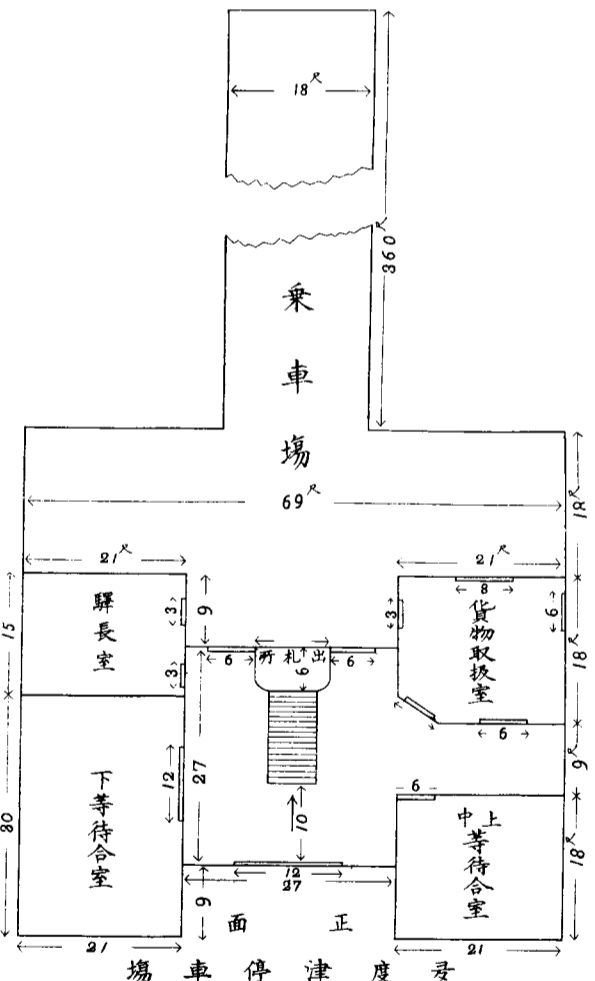
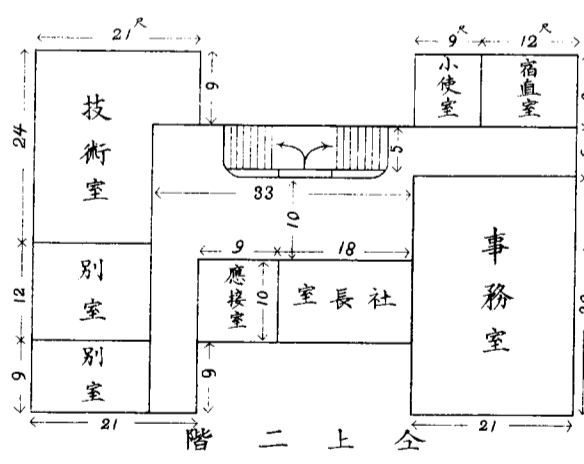
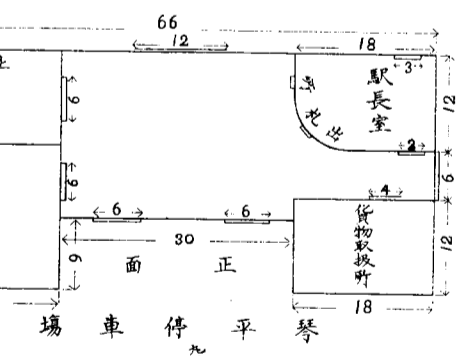
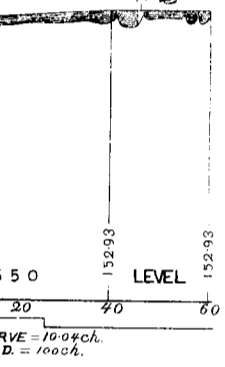
土工ハ切取六百九拾七坪盛土壹万五千九百三拾八坪ニシテ築堤ノ高サ平均四尺貳寸ナリ故ニコルベルトハ悉クオーブンナリ其築材ハ最初悉ク石材(小豆嶋、北來嶋與嶋等ノ花崗石生産地ニ近キヲ以テ)ヲ用フル計畫ナリシカ中コロ沿村ヨリ治水上ノ苦情生出シテ當初七ヶ所ナリシコルベルトモ遂ニ貳拾九ヶ所ノ増加トナリ煉化石ヲ交ル事トナレリ伏種モ全様ノ事情ニ由リ始メ五千尺ナリシモ竟ニ九千尺餘ニ達セリ此類ノ増加ニテ工業費壹萬五千餘圓ヲ増シタリト云フ

軌道ノ幅員ハ通シテ十四呎曲線ノ最モ急ナルモノ、半徑ハ二十鎖勾配ノ最モ峻ナルモノ百分ノ一ナリ軌隔ハ三呎六吋ハラストノ高サハ平均一尺二寸鐵條ノ重量ハ壹嗎ニ付四拾磅其長サハ三拾呎ニテベツセマー製鋼鐵平底形ナリフイシユブレイトドグスパイク等ハ只小ナルノミコテ尋常ノ形ナリポイントストックノ長サ拾三呎タンク拾呎ナリクロッシグノ交角ハ八分ノ一ト十分ノ一トノ二種ナリ枕木ハ長七尺巾八寸厚四寸ニテ鉄軌三拾尺ニ拾貳本ツ、用ヒタリ

橋梁ハ中津川入江川ノ貳ヶ所ナリ前者ハ四拾呎スパン四個ノ直桁後者ハ四拾呎スパン壹個ノ斜桁ニテ俱ニアレイトガーダーナリ橋臺橋脚ハ花崗石ト煉化石ヲ以テ之ヲ築キモルターハセメント壹部砂三部コンクリートハセメント壹部砂貳部砂利四部ノ調合ナリ(橋梁コルベルト等ノ建築デテールハ尋常一般ニシテ敢テ記スニ足ルモノナシ故ニ略之看者諒之)

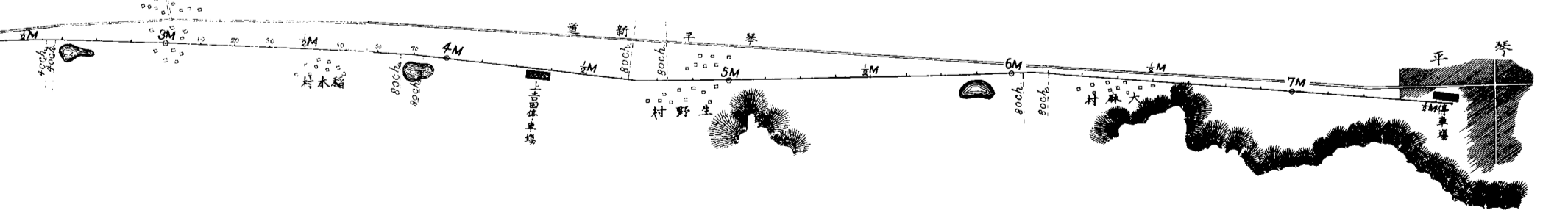


HORIZONTAL SCALE — 2 INCH = 1 MILE
 VERTICAL " — 1 " = 100 FEET



圖二第

圖一第



停車場等ノ諸建物ハ總テ木造ナリ多度津停車場ハ總ニ二階ニテ建坪七拾貳坪七合五勺ニ階ハ本社ノ事務所ナリ階上階下ノ間取ハ第一圖ノ如シ壁下根切ハ地盤ヘ長九尺末口七八寸ノ丸太ヲ打込ミ其頭部ヲ干潮面ニ留メ其上ニ蠟燭石ヲ立テ周圍ニ濱砂利ヲ苦汝ヲ以テ搗固メ其上ニ厚サ壹尺巾貳尺ノコンクリート(セメント)壹ト石灰貳ト砂三ト砂利五ト)ヲ入レ側石ヲ据ヘ土臺ヨリ擔端マテ貳拾五尺ニ建登レリ外三ヶ所ノ停車場ハ孰レモ一時ノ假建築ニシテ粗糙ノ構造ナリ琴平ハ四拾七坪五合九龜上吉田ハ各々拾五坪宛ナリ機關車庫ハ間口二拾八尺與行七拾尺ニテ機關車四臺ヲ入レ客車庫ハ間口四拾尺與行百八拾尺ニテ客車貳拾四輛ヲ容ル、ノ計畫ナリ

機關車(重量拾八噸)ハタンクインジン(水七百拾五ガロン)石炭壹噸積ニテ滾筒ノ徑拾壹吋四分ノ三ストローク拾九吋四分ノ三起動車ノ徑三呎拾吋八分ノ七固着輪底八呎貳吋火網積七平方呎三分ノ二燃熱面三百九拾八平方呎(トランジション)四呎距離其高サ(鐵軌ヨリ)貳呎九吋火箱ハ銅火管ハ眞鍮(延)ニテ機關車ノ幅ハ七呎六吋最大部ニ於テ其高サ拾呎拾吋最大部ニ於テ鐵軌ヨリノ高サ)各部入レ換ヘ成ルヘキ構造ナリ其原價六千六百六拾六圓六拾七錢貳萬マ一ク運賃五百圓海上保險六拾七圓海關稅三百拾圓水揚三拾五圓合計金七千五百七拾八圓六拾七錢外ハ手數料百分ノ三及金利到着ノ上計算若干ナリ

鐵軌ハ壹碼三拾八磅ノ重量ニテ原價壹噸ニ付五封度七志六片(船積)外ニ運賃壹封度拾五志海上保險壹志九片輸入稅壹圓三拾錢壹圓三志ノ割水揚壹圓手數料百分ノ三約束總高ノ及金利若干貨物到着ノ上計算ヲ以テ拾四哩(同貳割)ハ短條軌分ヲ買入レタリ

車輛ハ

- 一 上等客車(貳拾人乃至貳拾四人乘) 壹輛
 - 一 中等同 (三拾人乃至三拾貳人乘) 貳輛
 - 一 上等聯箱車(上等拾貳人中等拾六人乘) 三輛
 - 一 下等客車(五拾人乘) 拾輛
 - 一 緩急車 六輛
 - 一 覆ヒ貨物車(五噸乃至七噸積ミ) 貳輛
 - 一 開キ貨物車(全上) 六輛
 - 一 砂利車 (全上) 八輛
- 外ニ貨物車附屬ノ鐵物四組共合計七千貳百五拾封度外ニ手數料百分ノ三及金利(全前)
- ポインツエンドクロッシングス其他左ノ如シ
- 一 ポインツエンドクロッシングス 三拾貳組
 - 一 布設道具 五組
 - 一 轉車臺(徑拾八呎) 壹坐
 - 一 扛重器(半徑拾貳尺壹噸半揚ケ) 二個
 - 一 全上(半徑拾六尺五噸揚ケ) 壹個
 - 一 水槽用唧筒 貳個
 - 一 近信號器(セマホル)形高拾八尺 五組

一 遠信號器(セマホル)形高貳拾四尺 八組

一 スクルー タツクル ブロック (六千磅拾貳尺揚ケ 貳個)
(三千磅八尺揚ケ 貳個)

一 錐 拾貳個

一 トロリー 三個

一 水栓(徑貳吋管附) 壹個

一 鐵管 貳百呎

一 スクルー シャック 四個

一 自在 スクルー シャック (二噸揚ケ) 四個

一 ランプ 拾八個

以上原價合計貳千百五拾封度手數料百分ノ三及金利若干(全前)

工作場器具鞆鐵砧外拾種原價貳百四拾封度手數料百分ノ三及金利若干(全前)

鐵桁四拾呎五個原價六百五拾封度手數料百分ノ三及金利若干

右執レモ伊利斯商會ヲ經テ獨逸國ヨリ買入タリ

設計ハ工學博士平井晴二郎工學士小川東吾二氏ノ手ニ成リ工事ハ日本土木會社主ニ之ヲ受

負ヒ小生之ニ從事シ昨廿一年四月十日起工セシモ舶來品延着ノ爲メ工事遷延シテ本年五月

廿三日開業セリ

本社ノ株金總高ハ貳拾五萬圓ニシテ運輸ノ目的ハ金毘羅參詣ノ乘客ニシテ四時増減甚シ春

夏ノ交最モ多ク本年ハ既ニ其期節ヲ過キタレハ發車ノ時刻ハ當分午前六時ヨリ毎二時間ニ

テ午後八時ニ止ムト云フ

○富士製紙會社工場ノ概況

杉山輯吉

富士製紙會社ハ株金四拾万圓ヲ募集シテ洋紙ヲ製造スルモノニシテ幹事眞嶋襄君一切ノ事業ヲ擔當シテ昨年十月水路工事ヨリ工場建築ニ着手シテ既ニ其全工ノ半ヲ竣レリ今年末ニハ是非トモ製紙ノ業ヲ開業スル見込ノ由又タ此工場ハ隨分廣大ナル組織ニテ水力ヲ利用シタルビン三個ヲ裝置シテ原動力ヲ起ス經濟的ノ考按ニテ製紙モ白紙ト板紙ト両様ヲ毎日各三噸宛產生スル計畫ニテ現今ニテハ日本第一ノ製紙工場ト云フベシ

工場ノ位置 ハ静岡縣下駿河國富士郡鷹岡村字入山瀬ニ在リ此地タル富士山ノ西南麓ニシテ西南静岡市ヲ距ル拾里東南東海道吉原驛ニ至ル壹里五丁北大宮町ヲ去ル壹里二十町潤川其西ヲ經過ス此川ハ源ヲ大宮大中里及ヒ淀師村ニ發シ流テ吉原驛ヲ去ル二十八町ノ海濱小須濱ニ至リテ駿河灣ニ入ル幅員凡十間乃至三十間延長凡三里餘本社ノ工場ノ位置ヲ此地ニトセルハ該川流ノ水力ヲ利用スルカ第一ノ目的ニシテ工場建設ノ敷地ハ七千二百餘坪ニシテ地勢丘ニ憑リ西ニ潤川ヲ帶フ海面ヨリ高キ一凡百尺余東北ハ富岳ニ對シ西南ハ有名ナル田子ノ浦及ヒ駿河灣ヲ一望ス風景絶佳亦工場ニ占有セル水利ニ加付スル天興ノ殊惠ト云フベシ

工場所有地 ノ總坪數ハ壹万九千五百餘坪即チ左ノ如シ

一 工場敷地

七千二百餘坪

一 水路敷地

五千四百餘坪

一 附屬地

六千九百餘坪